

平成29年度 第1回 生乳検査外部精度管理調査結果（速報）

【乳成分標準値】

- 標準値は全参加施設の測定値にスミルノフ・グラブス検定を実施し、データクリーニングした後の平均値とした。
- 標準法測定値（参考値）は公益財団法人日本乳業技術協会により以下の方法にて測定した。

乳脂肪分	ゲルベル法	全乳固形分	常圧乾燥法
たんぱく質分	ケルダール法	無脂乳固形分	全乳固形分－乳脂肪分
乳糖分	レイン・エイノン法		
- 乳技協FT1測定値（参考値）は基本検量線"MILK"に対し、平成29年4月の校正乳を使用して新規に校正した検量線を用いて測定した。

区 分	試料	乳脂肪分	たんぱく質分	乳糖分	全乳固形分	無脂乳固形分	(%)
平均値 (標準値)	1	3.96	3.38	4.55	12.88	8.91	
	2	3.80	3.32	4.54	12.65	8.85	
	3	3.53	3.22	4.51	12.26	8.72	
乳技協 標準法測定値 (参考値)	1	3.97	3.39	4.57	12.88	8.91	
	2	3.80	3.32	4.54	12.62	8.82	
	3	3.55	3.24	4.51	12.29	8.74	
乳技協 FT1測定値 (参考値)	1	3.96	3.36	4.57	12.87	8.91	
	2	3.80	3.31	4.56	12.65	8.84	
	3	3.51	3.23	4.53	12.26	8.72	

※生乳検査精度管理認証制度の認証基準値について

都府県の事業所における認証基準値は都府県平均、北海道の事業所における認証基準値はマスターマシン測定値となっております。（上記標準値とは異なります）

認証基準値については一般社団法人Jミルクのホームページをご確認下さい。

(<http://www.j-milk.jp/gyokai/seidokanri/beroh000000coxm.html>)

【体細胞数標準値】

- 平均値は全集計値から乖離値（平均値± σ 以上）を除いた測定値の平均とした。
 なお、精度管理マニュアル検討委員会の決定に基づき、4台のマスターマシン（フォソマチック）を設置して共通試料A、Bを測定し、その平均値を標準値とした。
- 平均値と標準値は以下の通りであった。（単位： $10^3/ml$ ）

区 分	共通試料A	共通試料B
平均値	195	324
標準値	190	320

注) 平均値は期日までに報告のあったデータより算出した。